

南那須地区広域行政事務組合立那須南病院
公立病院経営強化プラン

令和6年度
～点検・評価結果報告書～

南那須地区広域行政事務組合

01 はじめに

「那須南病院公立病院経営強化プラン（以下「経営強化プラン」という。）は、持続可能な病院経営の実現に向けて、喫緊の課題である医師や看護師などの医療人材の確保、病院施設や医療機器の整備を進めるとともに、経営基盤の強化を図ることを目的に策定しました。

本報告書は、経営強化プランで掲げた目標の令和6年度の達成状況について点検・評価を行い、その結果を公表するものです。

【補足】

本報告書に記載の「経営強化プランの内容」は、令和6年3月に策定した経営強化プランの内容を抜粋したものです。

詳しくは、経営強化プラン本体をご確認ください。

02 点検・評価方法

本報告書では、経営強化プランに掲げた目標の達成状況を把握するため、以下のとおり「数値目標」に対する評価を行いました。

また、「取組目標」に対しては、令和6年度の実績を記載しています。

評価区分	評価の内容
A	達成率 100%以上
B	達成率 80%以上 100%未満
C	達成率 80%未満

03 点検・評価

1 役割・機能の最適化と連携の強化（経営強化プラン 第5章関係）

(1) 地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割・機能

経営強化プランの内容

栃木県の地域医療構想を踏まえつつ、県北医療圏の南東部に位置し、周辺の中核病院から30km程度離れていることを考慮して、急性期から慢性期を担う現状の機能を維持するとともに、地域包括ケアシステムを支える役割をもつ病棟として、地域包括ケア病床への転換を図ります。

令和6年度の実績

令和6年12月から地域包括ケア病床（8床）の運用を再開しました。

(2) 地域包括ケアシステム構築に向けた当院の果たすべき役割・機能

(ア) 現状機能の維持

経営強化プランの内容

当院は、当該地域唯一の一般病院として 24 時間 365 日体制で当該地区の二次救急を担っています。一般の入院及び外来診療、透析、人間ドック、また地域内山間部のへき地巡回診療を担っている状況です。引き続き現状の機能は維持するとともに、地域の医療・介護施設との機能分化・連携強化により地域の医療提供体制を維持していきます。

令和 6 年度の実績

当地域で唯一の二次救急病院群輪番制病院として、24 時間 365 日体制での救急患者の受け入れを行うとともに、一般の入院・外来診療、人工透析、人間ドック及びへき地巡回診療等についてもこれまでの診療体制を維持することができました。

なお、人工透析については、令和 6 年 4 月から、これまでの月曜日・水曜日・金曜日の 2 クール（午前・午後）に、火曜日・木曜日・土曜日の 1 クール（午前）を追加しました。

(イ) 在宅復帰支援及び在宅医療の拡充

経営強化プランの内容

回復期・慢性期相当の需要の増加と訪問看護需要が増加することを踏まえ、令和 6 年度に訪問看護ステーションを設置し、令和 4 年度に閉設しました地域包括ケア病床を再導入することで、地域医療に必要な「急性期治療を経過した患者の受け入れ」「在宅で療養を行っている患者等の受け入れ」「在宅復帰支援」の拡充を図っていきます。

令和 6 年度の実績

令和 6 年 11 月から訪問看護ステーションの運用を開始し、12 月からは地域包括ケア病床（8 床）の運用を再開しました。

(3) 機能分化・連携強化

経営強化プランの内容

当院が担う当該地域は、近隣の中核病院まで 30 km 程度離れていることから、大学病院でしか担えない患者等を除き、当該地域の地域包括ケアシステムの構築に向けて、近隣の医療機関と連携します。

令和6年度の取組実績

当院では、医療福祉相談・医療連携室内に患者相談窓口部門と入退院支援部門を設置しており、医療福祉相談、入退院支援、患者・家族との面談、他医療機関からの転院相談、施設への入所調整や地域の医療従事者との連携などの業務を行っています。

医療福祉相談に関する令和6年度の実績は、院内・院外の連携3,184件、患者・家族面談147件、入院時支援45件、カンファレンス・事例検討会76件、施設入所・再入所調整461件、看護相談41件でした。

また、院外の医療機関との連携も積極的に行い、他院からの当院転院相談件数は、相談72件、転院45件。当院からの他院への相談76件、転院48件。受診・転医相談は他院からの相談52件、転医36件、他院への相談70件、転医44件でした。

(4) 医療機能や医療の質、連携強化に係る数値目標

(ア) 訪問看護件数

経営強化プランの内容

当院における訪問看護件数は、令和2年度以降増加傾向にあり、令和5年度は令和2年度の2倍程度になることが見込まれます。そのため、令和6年度に訪問看護ステーションを設置し在宅医療の拡充を図ります。

数値目標に対する評価

(単位：件)

	実績値					計画値	実績値 (4月～10月)	実績値 (11月～3月)	評価
	R元	R2	R3	R4	R5				
訪問看護件数	-	45	42	65	129	145	80	554	A
月あたりの訪問看護件数	-	3.8	3.5	5.4	10.8	12.1	11.4	110.8	

(イ) 紹介・逆紹介件数

経営強化プランの内容

当院においては、紹介件数・逆紹介件数が直近4か年で増加傾向にあります。当院が担う診療圏は、大学病院でしか対応できない患者等を除き、基本的には当院と近隣の医療機関とが連携する必要があります。そのため、地域包括ケアシステムの構築に向け、紹介・逆紹介を積極的に行うことにより連携強化を図ります。

数値目標に対する評価

当院から他施設に紹介した件数

(単位：件)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
大学病院等	1,123	944	983	1,035	995	1,001	951	B
診療所・介護施設等	789	764	742	812	830	835	817	
合計	1,912	1,708	1,725	1,847	1,825	1,836	1,768	
月あたりの紹介件数	159	142	144	154	152	153	147	

他施設から当院に紹介された件数

(単位：件)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
大学病院等	657	558	603	668	637	640	715	A
診療所・介護施設等	1,031	1,001	937	952	961	976	1,022	
合計	1,688	1,559	1,540	1,620	1,598	1,616	1,737	
月あたりの紹介件数	141	130	128	135	133	135	145	

(ウ) 医療相談件数

経営強化プランの内容

当院は入院患者の退院調整や在宅介護・訪問看護の相談、ケアマネージャーに関する相談、各種サービス制度に関する相談等、様々な医療相談を引き受けています。当院の医療相談件数は、直近4か年で増加傾向にあります。今後も引き続き積極的に医療相談を行います。

数値目標に対する評価

(単位：件)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
医療相談件数	2,853	3,522	3,411	3,014	3,495	3,950	3,184	B
月あたりの医療相談件数	237.8	293.5	284.3	251.2	291.3	329.2	265.3	

(エ) セラピスト1人あたりのリハビリ提供単位数に係る数値目標

経営強化プランの内容

当院におけるセラピスト1人1日あたりのリハビリ提供単位数は、直近4か年で14単位程度を推移していました。将来的には回復期需要が増えることから、職員の採用だけでなくセラピスト1人あたりのリハビリ提供単位数を向上することで、当該需要の増加に対応します。

数値目標に対する評価

(単位：単位)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
セラピスト1人あたりのリハビリ提供単位数	14.0	13.6	14.5	14.2	14.8	14.6	14.5	B

(オ) 透析患者数に係る数値目標

経営強化プランの内容

当院は月曜日・水曜日・金曜日に2クールずつ透析医療を実施しており、年間の透析延べ患者数は2,750～2,800人程度を推移していました。診療圏における透析患者数は増加傾向にあり、当院における新規透析導入患者数も増加傾向にあることを踏まえ、令和6年度から火曜日・木曜日・土曜日に1クールずつ追加し、当該地区の透析医療を現状よりもさらに充実していきます。

数値目標に対する評価

(単位：床・クール・日・人)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
ベッド数	10	10	10	10	10	10	10	B
1週間あたりのクール数	6	6	6	6	6	9	9	
診療日数	157	157	156	158	156	262	312	
年間延べ患者数	2,834	2,755	2,741	2,802	2,870	4,149	3,836	

(カ) 救急車搬送による入院患者数に係る数値目標

経営強化プランの内容

当院における救急車搬送による入院患者数は直近4か年で増加傾向にありました。当該地区の唯一の一般病院として積極的な受入れを行います。

数値目標に対する評価

(単位：人)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
救急車搬送による入院患者数	549	478	547	607	545	612	552	B

(5) 一般会計負担の考え方

経営強化プランの内容

公立病院は、地方公営企業又は公営企業型地方独立行政法人として運営される以上、独立採算を原則とすべきものです。一方、地方公営企業法（昭和27年法律第292号）又は地方独立行政法人法上、第1に「その性質上、当該病院の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費」、第2に「当該病院の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」については、一般会計や設立団体等において負担するものとされています。

令和6年度の取組実績

令和6年度は、総務省の繰出基準及び組合病院事業一般会計繰入金に関する要綱に基づき、7億90万7,000円の繰入れがありました。

一般会計からの繰入状況

(単位：千円)

項目	負担基準	負担金額
救急医療の確保に要する経費	・2次救急医療提供体制確保に係る医師、看護師等の人件費等運用経費（宿日直に要する経費、緊急呼出体制に要する経費、医療技術員の確保経費） ・空床確保経費	169,775
高度医療に要する経費	・高度医療機器導入経費及び運用管理経費	35,171
建設改良に要する経費（利息分）	・企業債償還利息の1/2（平成14年度以前の事業は2/3）	6,455
リハビリテーション医療に要する経費	・リハビリテーション医療に係る収支不足分	44,264
小児医療に要する経費	・小児医療に係る収支不足分	23,054
不採算地区に所在する中核的な病院の機能の維持に要する経費	・特別交付税措置単価×調整後病床数	89,871
医師等の研究・研修に要する経費	・医師及び看護師等の研究研修に要する経費の1/2	2,334
共済追加費用の負担に要する経費	・共済組合追加費用支出額	10,106
基礎年金拠出金公的負担経費	・職員の基礎年金拠出金公的負担分	41,927
院内保育所の運営に要する経費	・院内保育所の運営に係る収支不足分	18,134
児童手当に要する経費	・児童手当の給付に要する経費	7,110
医師等の確保対策に要する経費	・非常勤医師に係る賃金及び交通費 ・医師住宅賃借料	94,154
収益的収入計上分		542,355
建設改良に要する経費	・企業債償還元金の1/2（平成14年度以前の事業は2/3） ・建設改良費の1/2	158,552
資本的収入計上分		158,552
合計		700,907

(6) 住民の理解のための取り組み

経営強化プランの内容

住民の理解を得るための当院の取り組みとして、広報及びホームページによる情報発信を行っています。当院の経営主体である南那須地区広域行政事務組合が半年に一回の頻度で発行す

る広報「こういき」にて、病院事業会計の予算や収支の状況について掲載しているほか、新型コロナウイルス感染症に関する情報（面会・受診方法・ワクチン接種）、病児保育所の案内、救急医療に関する情報など、病院に関する情報の発信を実施しています。

また、新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策等、地域住民の健康啓発に関する情報なども発信しています。

一方、病院単独でも広報「那須南病院だより」を発行しており、半年に一回の頻度で、病院での取り組み事項や部門・チーム・職員の紹介について掲載しているほか、外来担当医を診療科別、曜日別に整理し記載しています。また、病院のホームページの刷新を行い、パソコンだけでなくスマートフォンからの閲覧も見やすく使いやすいよう改善しました。今後は、構成市町と協力できる情報発信方法も模索しながら、引き続き地域住民への情報発信及び健康啓発に努めていき、当該地域の医療に貢献していきます。

令和6年度の取組実績

- ・「広報こういき」及び「那須南病院だより」を年2回ずつ発行し、予算・決算、病院の取り組みや職員紹介、診療情報など住民の皆様役に役立つ情報を掲載しました。
- ・地域住民の皆様健康や医療に関する正しい知識を身につけていただくことを目的に、認定看護師による出前講座を開催しました。

2 医師・看護師等の確保と働き方改革（経営強化プラン 第6章関係）

(1) 医療職（医師・看護師等）の確保、定着及び若手医師の確保

経営強化プランの内容

当院は、県養成医師の派遣や自治医科大学、獨協医科大学からの医師等の派遣もあり、診療圏の医療提供体制を維持している状況です。引き続き栃木県及び自治医科大学、獨協医科大学との緊密な連携を築き、医師等の安定的な確保及び定着に努め、当該診療圏の医療提供体制を維持していきます。

令和6年度の取組実績

令和6年度は、栃木県からは常勤医師5名、自治医科大学からは常勤医師4名、看護師4名、事務職員1名、獨協医科大学からは常勤医師1名の派遣を受け、医療提供体制を維持することができましたが、今後も安定的な確保及び定着に努めていく必要があります。

(2) 医師の働き方改革への対応

経営強化プランの内容

当院は、24時間365日体制で救急医療を行っていることから、出退勤管理システムにより医師の労働時間の実態把握を行い、非常勤医師による土日宿日直の対応を検討するなど医師の労働時間の見直しを図り常勤医師の負担軽減に努めます。

また、医師の負担軽減のためのタスクシフト・タスクシェアの担い手という観点から、看護師をはじめ、薬剤師、技師、セラピスト等の育成にも努め、院内外での研修を積極的に活用できる環境を構築します。

令和6年度の実績

- ・ 常勤医師の負担を軽減するため、非常勤医師による土日宿日直を月平均7回実施しました。
- ・ 医師の文書作成補助のため、医師事務作業補助者を配置しました。
- ・ 特定看護師による直接動脈穿刺法による採血（83件）、気管カニューレ交換（3件）、挿管チューブ巻き直し（8件）を実施しました。

3 経営形態の見直し（経営強化プラン 第7章関係）

経営強化プランの内容

当院においては、当該地域に一部へき地を有する医療を担う主体として、診療圏（那須烏山市・那珂川町・茂木町）の医療を維持することが重要です。また、救急医療やリハビリテーション医療、透析医療など、政策医療を含め地域住民の健康及び福祉に必要な医療を提供する必要があることから、地方公営企業法一部適用での経営を維持します。

ただし、経営状況の悪化や医療需要の変化、医療政策の変化などにより、現状の経営形態を維持することが、持続可能な医療提供体制の構築に反する場合は、経営形態の見直しを検討します。

令和6年度の実績

地方公営企業法一部適用での経営を維持

4 新興感染症の拡大時に備えた平時からの取り組み（経営強化プラン 第8章関係）

経営強化プランの内容

引き続き平時から感染対策や対応方針等について、国、県等の情報を収集するとともに、月1回の院内感染対策委員会及び院内感染対策チーム（ICT）で職員へ周知を徹底し、新興感染症拡大時に備えます。

また、国では令和4年12月の感染症法改正により、新興感染症発生・まん延時に迅速かつ適確に対応するため、平時からの医療機関等との感染症対応に係る協定締結を求めています。一方、栃木県では医療措置協定等の基本的な考え方や対象基準等に関して定める「医療措置協定等の締結に向けた基本方針」を策定し、本基本方針に基づき、医療機関等との協定締結に向けた協議等を進めていくこととしています。そのため、当院においても中核病院としての役割を踏まえ、協定締結に向けた取り組みを行ってまいります。

令和6年度の取組実績

- ・院内感染対策委員会・院内感染対策チーム（ICT）会議を毎月開催しました。
- ・全職員を対象に感染対策及び個人防護具の着脱・手洗い実習を実施しました。
- ・全職員を対象に「針刺し・血液暴露」、「吐物処理」の研修を実施しました。

5 施設・設備の最適化（経営強化プラン 第9章関係）

(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

経営強化プランの内容

当院の建物は、既存棟が34年、増築棟は28年経過しており、適宜老朽化に伴う修繕・改修を実施している状況です。令和5年度は屋上防水改修及び外壁改修工事を実施しています。既存棟と増築棟は大規模改修が必要な時期に入っていますが、前記の医療需要を踏まえると、建て替えも視野に入れた、今後増加する医療需要に対応するための整備が必要となります。

また、医療機器も適宜更新している状況ですが、建物と同様に計画的な運用が必要となります。

そのため当院においては、地域医療構想との整合性を図りながら地域において果たすべき役割・機能を改めて見直し、その必要性や費用対効果等を十分に検証したうえで施設整備に取り組みます。また、医療機器についても計画的な更新を実施します。

令和6年度の取組実績

- ・施設・設備の老朽化により修繕箇所が増えているため、劣化状況を踏まえた優先順位付けを行い、緊急性・重要性の高い項目から計画的に更新・修繕を実施しました。
- ・令和6年4月に新病院の整備について協議するための「那須南病院整備基本構想検討委員会」を設置し、計5回の会議を開催し、基本構想（素案）をとりまとめ、令和7年1月に組合長に答申しました。
- ・上記検討委員会の答申を受け、パブリックコメント等を経て、令和7年3月に「那須南病院整備基本構想」が完成しました。

令和6年度の主な事業（建設改良費）

▶ 施設整備事業

- ・電話設備更新工事／電話設備更新工事設計監理業務委託
- ・医療ガス設備供給元更新工事／医療ガス設備供給元更新工事設計監理業務委託
- ・地下浄化槽沈殿槽改修工事
- ・高圧ケーブル引込設備等更新工事設計及び仮設計画業務委託

▶ 医療機器整備事業

- ・ウォッシャーディスフェクター
- ・手術用顕微鏡 HD カメラ

- ・オートクレーブ
- ・電子カルテ用パソコン
- ・医薬品在庫管理システム
- ・電動リモートコントロールベッド
- ・CT 装置
- ・個人用多用途透析装置
- ・オージオメータ
- ・スリットランプ及び専用カメラシステム

(2) デジタル化への対応

経営強化プランの内容

当院では、平成 25 年 10 月より電子カルテを導入し従来の紙ベースでの業務から業務の効率化を図っているほか、診療報酬の電子化により患者属性や検査情報等、患者情報の把握や病院間の紹介・逆紹介の効率化に努めています。またマイナンバーカードの保険証利用についても対応しています。引き続き当該 ICT 技術を活用した業務の効率化を図るとともに、他 ICT 技術の導入についても、その必要性及び費用対効果を十分に検討したうえで導入していきます。

令和 6 年度の実績

- ・患者の利便性向上と会計業務の効率化を図るため、クレジットカードでのキャッシュレス決済を開始しました。
- ・医薬品の在庫管理をより正確かつ効率的に行うため、デジタル化の一環として医薬品在庫管理システムの更新を行いました。
- ・職員が院内研修に参加しやすい環境を整えるため、限定公開の YouTube チャンネルを利用した動画研修を開催しました。

6 経営の効率化等（経営強化プラン 第 10 章関係）

(1) 経営指標に係る目標及び目標達成への具体的な取り組み

① 1 日あたりの入院患者数に係る目標

経営強化プランの内容

当院における 1 日あたりの入院患者数は、両病棟で減少傾向にあります。今後は当院の役割・機能を明確化したうえで、訪問看護の積極的な推進や、紹介・逆紹介の促進、医療相談件数の増加等を通じて当該患者数を増加させ、経営改善に努めていきます。

数値目標に対する評価

(単位：人)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
一般病棟入院患者数/日	87.4	81.2	78.6	77.6	78.4	85.0	80.5	B
療養病棟入院患者数/日	41.9	39.9	37.7	38.0	39.2	38.5	36.2	
合計	129.3	121.2	116.3	115.6	117.6	123.5	116.7	

② 医業収支比率・修正医業収支比率に係る数値目標

経営強化プランの内容

当院の医業収支比率及び修正医業収支比率は、令和元年度以降減少傾向にあり、令和4年度は直近4か年で最低値でした。経営強化プラン対象期間中は、患者数増加や、紹介・逆紹介の促進、地域包括ケア病床の活用等を通じた経営改善に努め、医業収支比率を徐々に改善していきます。

数値目標に対する評価

(単位：%)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
医業収支比率	86.0	85.3	84.6	83.8	82.7	87.8	80.4	B
修正医業収支比率	80.2	79.3	78.7	78.0	76.7	82.0	74.5	B

算出式

医業収支比率	$\text{医業収益} / \text{医業費用} \times 100$
修正医業収支比率	$\text{医業収益} / (\text{一般会計繰入金を除く}) / \text{医業費用} \times 100$

③ 経常収支比率に係る数値目標

経営強化プランの内容

当院の経常収支比率は、改善傾向にあるものの未だ経常赤字の状況でした。今後は経常黒字化を目指し令和9年度には経常黒字化を達成するよう努めていきます。

数値目標に対する評価

(単位：%)

	実績値					計画値	実績値	評価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
経常収支比率	94.5	96.1	99.6	98.1	95.7	99.2	91.5	B

算 出 式	
経常収支比率	経常収益／経常費用×100

④ 常勤職員数に係る数値目標

経営強化プランの内容
当院の常勤職員数は、令和元年度以降減少傾向にありますが、今後は、常勤職員 175 人を基本として職員の採用や定着に努めていきます。

数値目標に対する評価

(単位：人)

	実績値					計画値	実績値	評 価
	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
常勤職員数	174	170	172	171	171	175	172	B

(2) 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等

令和6年度実績

(単位：千円)

区 分	計画値	実績値	比 較	評 価
医業収益	2,590,329	2,322,925	▲267,404	C
入院収益	1,523,080	1,338,326	▲184,754	
外来収益	833,881	735,025	▲98,856	
その他医業収益	233,368	249,574	▲16,206	
医業費用	2,950,985	2,889,417	▲61,568	
給与費	1,769,461	1,846,325	▲76,864	
材料費	435,476	366,086	▲69,390	
経費	550,444	481,531	▲68,913	
減価償却費	173,679	172,391	▲1,288	
資産減耗費	8,084	8,676	▲592	
研究研修費	4,721	5,062	▲341	
長期前払消費税償却	8,903	9,332	▲429	
雑支出	216	14	▲202	
医業損益	▲360,656	▲566,492	▲205,836	
医業外収益	457,499	428,836	▲28,663	
医業外費用	121,632	116,487	▲5,145	
経常損益	▲24,789	▲254,143	▲229,354	
特別利益	1	0	▲1	
特別損失	460	950	▲490	
純損益	▲25,247	▲255,093	▲229,846	